

# 延岡市における デジタル田園都市国家構想推進事業について



令和4年8月25日  
延岡市未来技術地域実装協議会

## 延岡市は3事業が採択

### ① 脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業

- オンデマンド型乗合タクシーを導入。並行して、東大と連携し市民の行動データを収集・分析。
- オンデマンド型乗合タクシーと他の交通手段との適切な組合せを構築し、住民の移動ニーズにきめ細やかに対応するとともに、脱マイカー社会推進や脱炭素型社会の実現を図る。

### ② 安心と温もりの市民参加型GISクラウドサービス構築事業

- 素早く簡単に使用できるGISクラウドサービスを実装し、デジタル技術を活用した利便性の高いサービスを提供する。(空飛ぶクルマの基盤)

### ③ 誰一人取り残さないポータルアプリの構築 ～交流人口・関係人口も拡大～

- 本市が行政サービスとして提供するアプリ及びWebサービスを一元化し、簡便性を重視したポータルアプリを構築する。
- 既に実装しているアプリサービス「のべおかCOIN」、「のべおか健康マイレージ」、「防災のべおか」の会員登録情報・ログイン機能のAPI連携を実施するとともに、来訪者も活用できるようにする。

## 【事業概要】

◆人流データを分析し、利用者に合わせた「オンデマンド乗合タクシー」を導入します。

※住民の方々が利用しやすい、持続可能な交通手段を構築。

### 【対象地域】

北浦町  
(人口：約3,300人、世帯数：約1,600世帯、高齢化率：約43%)

### (1) 人流データ収集・分析、運行内容の検討

・東京大学との連携のもと、人流データのより詳細な分析を実施。

### (2) オンデマンド乗合タクシーの運行

- ・(1)の検討を踏まえながら、住民の移動ニーズを的確に捉えた『オンデマンド乗合タクシー』を導入。
- ・利用状況を把握し、PDCAを回しながら潜在的な移動ニーズの顕在化を図る。

### (3) 路線バスとの役割分担・補完関係の検討

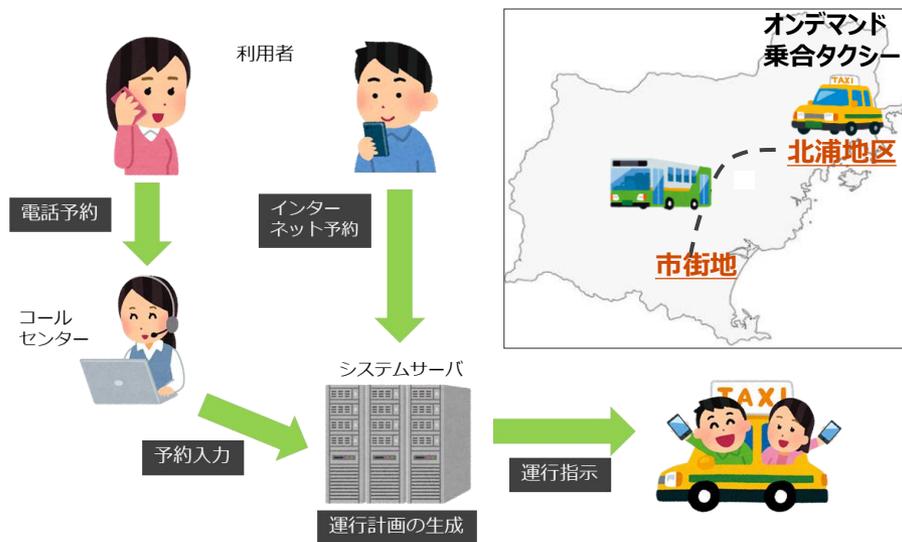
・既存の路線バス等との役割分担や補完関係を検討、構築。

### (4) 交通モードのベストミックス

・乗換え割引の導入等、料金体系のあり方を検討、構築。

【事業費】 35,625千円 ※地方負担 1/10、国補助 実質9/10  
(財源) ・デジタル田園都市国家構想推進交付金  
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

## 事業イメージ



## ■事業推進体制・構成員

名称 (団体、事業者名)	団体・事業者概要	事業における役割
延岡市		実務・連絡調整
宮崎県タクシー協会延岡支部	市内タクシー事業者	乗合タクシーの運行
NPO法人北浦お守り隊	北浦町内の高齢者の生活支援	コールセンター、介護予防事業による利用促進
延岡市地域公共交通活性化協議会	交通事業者 (宮崎交通(株)、タクシー会社)、市民団体、有識者等	利用状況の評価
延岡市地方創生有識者会議	産官学金労言 (延岡商工会議所、区長連絡協議会、旭化成(株)等)	意見交換、効果・検証
東京大学大学院情報理工学系研究科附属ソーシャルICT研究センター	学術機関・研究機関	人流データ分析・検証
宮崎交通(株)	バス事業者	乗り継ぎセット料金の構築等

## 【事業概要】

◆市民や事業者が、無料で閲覧またはダウンロードができる「GISクラウドサービス」を提供します。

※ハザードマップ、避難所や公園の場所、各種規制、道路状況等を発信。

※将来、救急救命や防災で活用を予定している「空飛ぶクルマ」の基盤となるもの。

GIS（地理情報システム）

地理的位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

### (1) GISクラウドサービスの導入により、市HPの都市計画情報・防災情報等のまちづくりに重要な情報発信力強化

・市民・企業等が無料で活用できる公開型GISを導入。

### (2) 平常時・災害時の両方に活用できる双方向型の市民通報サービスの導入による対話の市政の基盤充実

・市民が市に対してレポートできる投稿フォームを備えた市民通報サービスを導入。

### (3) 各種情報を正確に反映するために最新の空間情報を作成

・都市計画区域の「航空写真撮影」の実施と「地形図」の作成を実施。  
 ・作成した「地形図」に都市計画情報や防災情報を整備。  
 ・Society5.0社会の実現に向けて急速に深化する科学技術の進展に対応する基盤として「3D都市モデル」を作成。

【事業費】 106,512千円 ※地方負担 1/10、国補助 実質9/10

(財源) ・デジタル田園都市国家構想推進交付金

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金



## 公開型GISのイメージ



## 事業推進体制・構成員

名称 (団体、事業者名)	団体・事業者概要	事業における役割
延岡市	地方公共団体	事業進捗管理、広報、全体調整・管理
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科未来社会共創イノベーション研究室	学術機関・研究機関	オープンデータを活用した研究・提案等
延岡市地方創生有識者会議	産官学金労言 (延岡商工会議所、区長連絡協議会、旭化成(株)等)	意見交換、効果・検証
東京大学大学院情報理工学系研究科 附属ソーシャルICT研究センター	学術機関・研究機関	人流データ分析・検証
国立循環器病研究センター	学術機関・研究機関	データ利用範囲の拡張の検討
旭化成ネットワークス株式会社	通信事業者 (本社: 延岡市 市と連携協定を締結)	オープンデータを活用した調査・提案等

## 【事業概要】

◆3つのアプリ「のべおかCOIN」、「防災のべおか」、「のべおか健康マイレージ」に新たな機能を追加し、会員登録情報やログイン機能を一元化する『ポータルアプリ』を構築します。

◆プレミアムポイントやクーポン付与、市情報の一元的な発信、スマホ教室等を行います。

※アプリを利用しやすい環境を整え、アプリ利用者の増加を図る。

### (1) ポータルアプリの実装

- 行政サービスとして提供・利用するアプリ及びWebサービスについて、機能を一元化し、簡便性を重視したポータルアプリを構築。
- 各種アプリサービスの会員登録情報・ログイン機能の連携を実施。
- マイナンバーカードの普及を念頭に置いて、マイナンバーカードの利便性を実感できる取り組みを実施。

### (2) 既存アプリの改修・機能追加

- のべおかCOINアプリ、のべおか健康マイレージアプリ、防災のべおかアプリについて、機能追加を行い、利用者の利便性の向上を図る。

### (3) デジタルデバйд対策

- スマホ教室（毎月開催）等において高齢者による活用を促進。

### (4) 出張者や観光客の取り込みによる地域内経済の活性化

- 市民及び出張者や観光客にも、本ポータルアプリを活用して各種サービスを提供するとともに、プレミアムポイントやクーポン付与などの利用促進策を展開。

【事業費】 55,499千円 ※地方負担 1/10、国補助 実質9/10  
 (財源) ・デジタル田園都市国家構想推進交付金  
 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

## ポータルアプリサービスのイメージ



## ■事業推進体制・構成員

名称 (団体、事業者名)	団体・事業者概要	事業における役割
延岡市		実務・連絡調整
延岡市健康長寿推進市民会議 (会長：旭化成(株)延岡支社 総務部長)	市民団体・地縁団体等	個別アプリの事業戦略
延岡市情報政策推進懇話会	有識者、行政機関等	情報政策への意見
延岡市地方創生有識者会議	産官学金労言 (延岡商工会議所、区長連絡協議会、旭化成(株)等)	意見交換、効果・検証
国立循環器病研究センター	学術・研究機関	健康政策推進への意見・協力





# のべおかCOIN30%パワーアップ! プレミアムポイントキャンペーン!!

のべおかCOIN

ダウンロード17,000人突破記念  
8月8日(月)スタート

プレミアムポイント30%

20,000円チャージ  
上限6,000ポイント付与

↓ 上限UP

50,000円チャージ  
上限15,000ポイント付与

**パワーアップ**  
プレミアム  
ポイントチャージ  
キャンペーン!!!

**上限UP**

加盟店マネーチャージで  
令和4年 8/8月 ~ 30%Pt付与!

※6月9日スタートのキャンペーンと合わせて1億2,000万ポイント付与次累計終了とさせていただきます

上限6,000Pt → 15,000Ptへ!!

すでに20,000円チャージされた方 (例)30,000円の現金チャージで	これからチャージされる方 (例)50,000円の現金チャージで
さらに 30%ポイント 9,000Pt付与!	30%ポイント 15,000Pt付与!

※現金チャージした翌月末日に付与されます(但し月末日が祝日の場合は翌日火曜日に付与されます) ※令和4年8月7日(日)まではポイント付与の上限は6,000ポイントとなります

**ダウンロード17,000人突破!!**

お申し込み・お問い合わせ  
のべおかCOIN加盟店事務局(株式会社エソ)  
〒882-0053 宮崎県延岡市幸町2-125 ココレッタ延岡2F enbroad内  
TEL:0120-070-260 © https://www.nobeco.jp info@nobeco.jp

# のべおか健康マイレージ

歩いた分だけ、ポイントが貯まる

貯めた分だけ、お買い物に使える



1日4,000歩から！  
歩いて1ポイント～  
7ポイントが  
毎日もらえる！

血圧や体重などを  
入力するだけで、  
ポイントが  
毎日もらえる！

そのほか、  
アンケートや  
イベントへの参加で  
どんどんもらえる！

アプリの登録方法などは裏面をご参照ください →

## のべおか健康マイレージアプリ

- 1日の歩数などに応じてポイントが貯まります。
- 月ごとの歩数の順位は、全体ランキングや年代別ランキングとしても表示されます。
- 4月末時点で、約6,600名の方にご登録いただいています。
- 貯めたポイントは、のべおかCOINアプリを通して、1ポイント=1円として加盟店でのお買い物等に利用することができます。

## 九州では唯一、延岡市の事業が採択

### ① データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”as a Service[QaaS]

- “救急”as a Service[QaaS]の提供に向けて開発するサービスをデータ連携基盤へ活用することで、市民や病院等への利便性の向上やサービス拡大に取り組む。

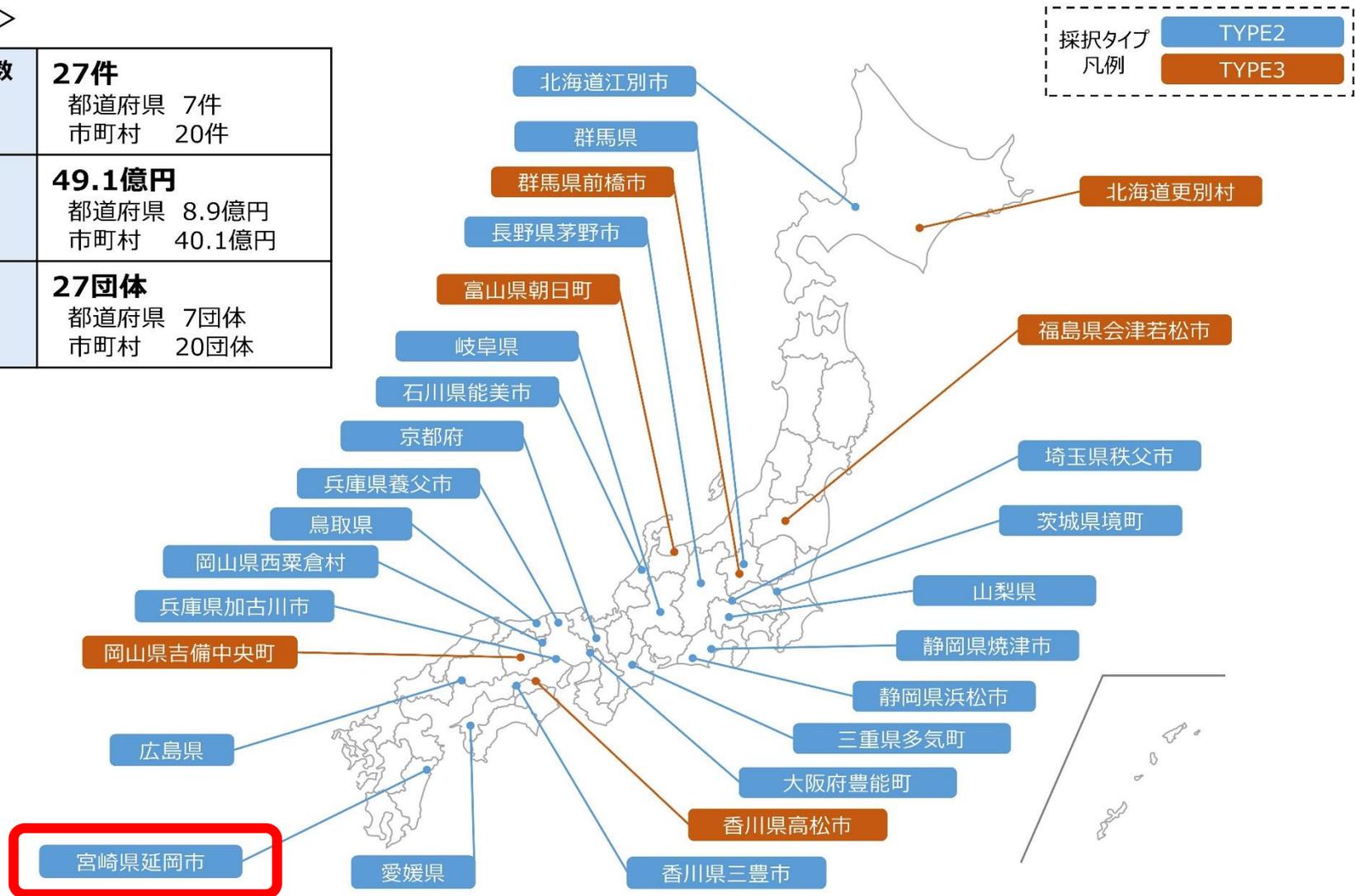
#### ＜開発するサービス＞

- 住民健康管理サービス
  - 医療情報共有・コミュニケーションサービス
  - 救急搬送トリアージサービス
  - 救急モビリティ運行管理サービス
- 空飛ぶクルマにも対応可能な救急モビリティ体制の整備及び運用体制の構築し、空飛ぶクルマが実用化される2025年度以降できるだけ早く実装する。

- デジタル実装タイプ（TYPE2/3）はデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う取組を行う地方公共団体の取組を支援
- 採択事業件数（団体数）は27件（団体）、採択金額（国費）は約49億円

### <採択結果>

採択事業件数	<b>27件</b> 都道府県 7件 市町村 20件
採択金額 (国費)	<b>49.1億円</b> 都道府県 8.9億円 市町村 40.1億円
採択団体数	<b>27団体</b> 都道府県 7団体 市町村 20団体



**九州で唯一採択**

## ～空飛ぶクルマも見据えた新たな救急搬送体制づくり～

### 延岡・県北の課題

- ◆救急現場への到着時間や救急先病院への搬送時間の短縮化が課題。
- ◆延岡市を含む県北地域はドクターヘリの「片道15分圏」の外。(助からないケースが多い)

### 今回のプロジェクトで装備するシステム

- 1. 個人の健康データを入力するアプリ** 【個人が使用するアプリ/スマホにアプリをダウンロード】  
個人が日々の健康記録や診療情報などを入力し管理するアプリの実装
- 2. 救急搬送時のトリアージ(治療優先順位)を最適化するシステム** 【救急車等で使用するシステム/タブレット端末】  
救急搬送時の最適なトリアージのためのシステムの実装
  - ①脳卒中や心疾患の発症可能性や重症度などを判定するシステムの実装
  - ②除細動器(12誘導心電図電送機能等)からのバイタルデータを病院等に送るシステムの実装
  - ③**1のアプリ**と連携し、患者の健康データを取得し、危険度を判断するシステムの実装
- 3. 救急搬送時の医療情報を病院と共有するシステム** 【救急車・搬送先病院等で使用するシステム/タブレット端末】  
**2のシステム**と連携し、救急搬送時に救急車、搬送先病院、消防指令センター等の間で、患者の症状に関する画像も含めた情報を共有し初動対応に活かすシステムの実装  
※ 上記1～3を救急隊員や搬送先病院で活用

### + プラス

- 4. 救急搬送の最適な運行管理を行うシステム (「空飛ぶクルマ」を「空飛ぶ救急車」的に活用)**  
空飛ぶクルマの実装も見据え、救急モビリティ(救急車・ドクターカー)の選定・運行管理・搬送経路の設定を支援するシステムの実装  
空飛ぶクルマの実装も見据え、救急車・ドクターカー等とのランデブーポイントや離着陸場所の選定等を行うシステムの構築。

### 目指す姿

搬送時間の短縮・迅速な受入・スピーディーかつ適切な医療処置により、  
市民の救命率を向上させ、**助かる命を大幅に増やす!**

# “救急”as a Service 運用イメージ図

- ② 患者の診療情報等の取得・分析
- ② 最適なトリアージの実施  
(最適な医療処置・搬送先選定等)



- ① 健康・診療データの  
入力管理

救急車・ドクターカー

迅速・的確な医療処置

搬送時間短縮

最適な搬送経路



搬送先病院



- ③ 医療情報の共有  
適切な医療処置

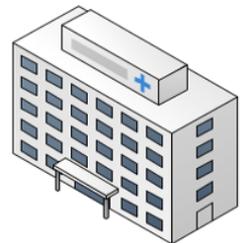


空飛ぶクルマ

または



ドクターヘリ



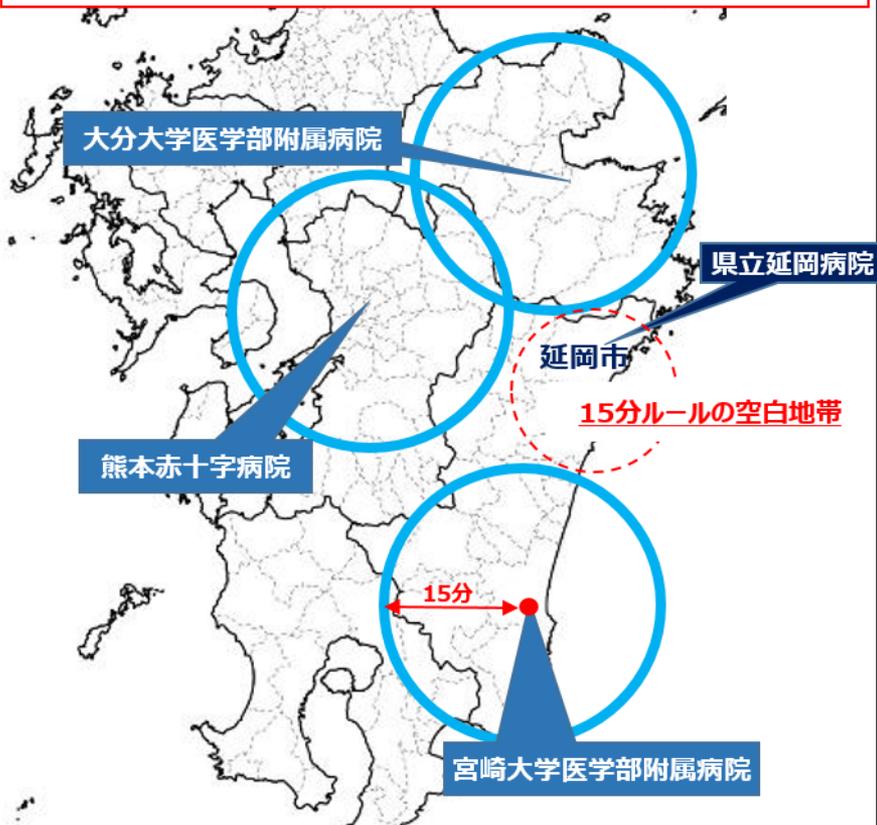
大学病院等

- ④ 救急搬送の運行管理  
(救急車・ドクターカー・空飛ぶクルマ・ドクターヘリの最適な選択)

参考

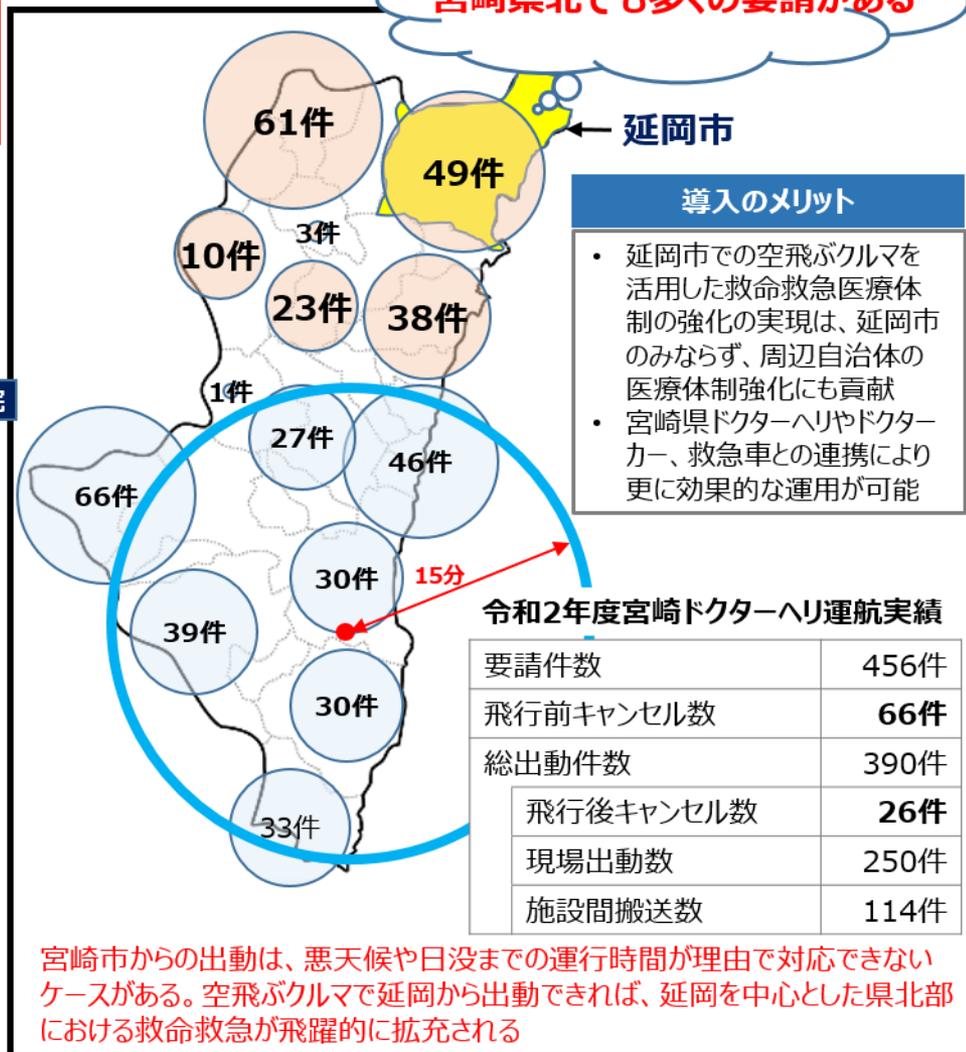
## 延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

出勤要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



○ 各県のドクターヘリが約15分で到着可能な範囲  
(基地病院から55km圏のイメージ図)

宮崎県北でも多くの要請がある



## このプロジェクトが目指している目標

### 【目標1】 個人の健康データを入力するアプリの利用者の増加を推進します。

- アプリに入力された情報を救急搬送時等に活用するため、アプリの利用者の増加を図ります。
- アプリ利用者に対して、プッシュ通知等により健康情報等を提供し、自身の健康に関する意識向上を促進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和6年度末)
個人の健康データ入力アプリの登録者数	3,000人	20,000人
個人の健康データ入力アプリ利用者のうち、健康に関する意識が向上したと回答した割合	20%	70%

### 【目標2】 医療情報を共有するシステムを活用した初動対応等の迅速化、効率化を推進します。

- 救急搬送時に、救急車、搬送先病院、消防指令センター等の間で、患者の症状に関する情報を共有し、搬送時間の短縮や最適な医療処置の提供等につなげる共有システムの利用率の向上を図ります。
- 患者の症状等に関する情報を早い段階で共有することで、迅速・的確な医療処置を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和6年度末)
救命救急搬送時における医療情報共有コミュニケーションサービスの利用率	50%	100%
医療体制への負担軽減が改善したと回答した割合	50%	90%

### 【目標3】 医療処置までにかかる時間短縮に向けた体制づくりを推進します。

- 心筋梗塞患者にカテーテル治療を開始するまでの時間が30分遅れる毎に死亡率が約7%上昇すると言われています。日本循環器学会のガイドラインで推奨されている90分以内の治療に向けた時間短縮を図ります。
- 脳卒中治療ガイドラインによると、脳梗塞患者の救命可能時間は4.5時間が限界とされています。脳の早期回復を図るため、薬剤投与（tPA療法）を開始するまでの時間短縮を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和6年度末)
心筋梗塞患者のカテーテル治療までの時間短縮	108分	78分
脳血管患者の薬剤投与（tPA療法）までの時間短縮	110分	80分

### 【目標4】 将来的な対象地域の拡大を推進します。

- 宮崎県北地域の他市町村まで同サービスを拡大し、より一層の救命率向上を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和4年度末)	目標値 (令和6年度末)
サービス対象地域	延岡市内	周辺地域に拡大